

第68回国連大学理事会外務省主催レセプション

堀井巖外務政務官御挨拶

御列席の皆様、

日本政府を代表し、ひとこと御挨拶を申し上げます。

まず、国連大学の発展に向けて多大な貢献をいただいている理事の皆様、来日を歓迎いたしますと共に、外務省を代表して、皆様の御出席を心から感謝いたします。

国連大学は、40年にわたり人類の存続と発展、そして福祉に関わる緊急且つ地球規模の問題について研究を行うシンクタンクとして機能してきました。その研究は、平和と安全保障の分野に加え、2015年に国連が定めた持続可能な開発目標、いわゆるSDGsで掲げられている経済・社会・環境のすべての分野に亘っています。本年、国連大学は、SDGsの達成に向けた世界中で行われるハイレベルの会議に関与し、日本国内においては、シンポジウムやワークショップを開催されました。先日出席した国際協力のイベント「グローバル・フェスタJ APAN2017」において、私は、SDGsの達成について「全ての人が他人ごとではなく自分事として考えることが国際協力への第一歩である」と発信したところですが、まさに国連大学では、SDGsに関して広く一般への知識の普及に務めてこられ、人々がSDGsを身近な問題として捉える機会を提供されておられます。

我が国としては、国連大学が、SDGs達成に向けた人々の意識向

上をリードする存在であり続けると共に、国連システムにおける優良なシンクタンクとして世界に広がるネットワークと専門知識を駆使し、国際社会が直面する諸課題への解決の道標を示すことを大いに期待しています。特にSDGs やアフリカ開発分野など我が国が重要視している分野の各種プロジェクトの実施、防災関連の研究において、引き続き支援を継続していきます。

最後になりましたが、マローン学長をはじめとする国連大学理事の皆様のご協力と御理解に深く感謝申し上げますと共に、御列席の皆様と国連大学の益々の発展を祈念して、御挨拶とさせていただきます。（了）